ＮＰＯ神奈川フォスターケアサポートプロジェクト

設立にあたって

里親は、病気や事故さらに虐待などの理由で、実親のもとで生活できない子どもを、家庭で育てております。しかし、児童福祉法では１８歳までが養育の対象であり、その後は自立することになっています。

今の社会情勢から１８歳ですぐに自立するには、数多くの障害があり、われわれ里親としては、里子の自立を支援することが、重要な役割であると認識しております。

平成１８年神奈川県主催で開催された「全国里親研究協議会」分科会での「自立支援制度を考える」から、平成２０年度から２年間の計画で、「里子自立委員会」を発足して、里親からのアンケート・グループインタビューの実施、冊子「自立に必要なQ&A」の作成配布等実施してきました。

今後の里子自立支援事業をさらに推進するため、ここに「ＮＰＯ神奈川フォスターケアサポートプロジェクト」を立ち上げ活動を始めました。

２０１０年４月

NPO神奈川フォスターケアサポートプロジェクト

理事長　　星野　　崇

☆　里子の自立支援と、
里親支援として
次のような事業を行います　☆

●　里子自立支援スクーリングプログラム

高校生の里子を対象に、自立する自覚の養成。自立に必要な基礎知識と実務経験。里子同士の連携と仲間意識の構成を目的にスクーリングを行う。

日時　８月から全５回
場所　ウイリング横浜　他

里子たちが、笑顔で社会に巣立てるように！

●　自立資金助成貸付事業

里子の自立に必要な資金を無利息で一定期間貸付を行う。

・対象者　自立を迎えた里子

●　里親里子に関する相談、研修会
普及啓発事業

里子里親間で抱えている問題を解決するため、個別テーマごとに、講師を招き研修を行う。

・年１回研修会開催

里親が安心して、里子の巣立ちの日を迎えられるように！